

第1学年3組 学級活動（2）指導案

1. 日時・場所 令和2年11月18日（水） 13時40分～14時25分 1年3組教室

2. 題材 「ともだちとなかよく」（イ よりよい人間関係の形成）

学級目標

げんきにあそぶクラス

えがおであいさつするクラス

みんななかよくけんかしないクラス

3. 題材について

（1）児童の実態

本学級は、元気で素直な児童が多い。様々なことに興味をもち、積極的に取り組む児童がほとんどである。給食当番や掃除にも意欲的に取り組んできている。友達との関係もおおむね良好で、男女分け隔てなく関わる事ができている。しかし、中には友達の気持ちがわからずに、自分の気持ちを押し付けてしまう児童もいる。そのため、子ども同士のトラブルがあった時や道徳の授業などで相手の気持ちを考えて行動できるように指導している。

6月には学級目標について話し合い、児童に、「どんな1年生になりたいか」「どんなクラスにしたいか」を質問し、黒板に書きだした。元気や笑顔が大切、みんなとなかよくしたいという子どもたちの思いをふまえつつ、学級目標を「げんきにあそぶクラス」「えがおであいさつするクラス」「みんななかよくけんかしないクラス」とした。そこから5ヶ月が経ち、子ども達は休み時間に外で元気に遊んだり、朝や帰りに笑顔で挨拶したりする児童が増えてきている。

（2）題材設定の理由

学校生活を通して、新しい友達との関わりも少しずつ増えてきた。前期は遊び係や担任の声かけ等を中心にクラスで一つの遊びや活動をする機会を設けることで、クラス目標の「みんななかよくけんかしないクラス」を意識できるようにしてきた。しかし、夏休み前に仲の良い友達についてアンケートを実施してみると、全員と仲良くなっていると書いた児童もいれば、特定の児童しか書いていない子や、一人、二人しか書いていない児童もあり、学級目標の「みんななかよく」には、まだ近づけていないと感じた。そこで、「みんななかよく」とは、どういう姿なのかを考えることを通して、もっと多くの友達との関わりを増やしてほしいという願いを込めて、本題材を設定した。

本実践では、第二回となる仲の良い友達アンケートや友達と仲良くしている様子の写真を効果的に使用することで、子どもたち一人ひとりが「みんななかよく」ということについて考えられるようにしていきたい。アンケートでは、みんなと仲良くなれているか、そうでないか、なぜそう思うのか等の回答を集計して視覚化することで、クラスの現状を全体で把握できるようにする。また、あまりみんなと仲良くなれていないと答えた児童については、仲良くなるためのキーワードをヒントとして促し、少しでも多くの友達と関わろうと思えるようにしていきたい。写真では、友達と一緒に遊んでいる様子や、友達に優しく接している様子などを、アンケートから出た子どもの意見と共に使用することで、仲良くなるためのキーワードを挙げたり、写真と関連づけたりしながら、クラス全体で「みんななかよく」とはということかを考え、共有できるようにしていきたい。

4. 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
友達との関わりをよりよくすることの大切さを理解し、そのための方法や仕方を身に付けている。	友達との関わり方についての諸課題を知り、友達への関わりをよりよいものにするための方法について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	友達への関わりをよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲良くしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

5. 活動の実際

(1) 事前の指導

活動の場	児童の活動	○指導上の留意点	資料	目指す児童の姿☆
実施 1週間前	・クラスの友達みんなとなかよくなれているかのアンケートに答える。	○学級目標に掲げた「みんななかよく」という言葉を意識させながら書くよう促す。	・アンケート (児童の意識を高めるための資料)	☆友達に関する自己の生活を進んで振り返ろうとしている。 (主体的態度)

(2) 本時の展開

①ねらい

- ・クラスの友達全員とまだ仲良くなれていないことに気付き、みんなと仲良くなるための方法を話し合
って、自分のめあてをもって実践できるようにする。

②展開

	児童の活動	○指導上の留意点 ☆評価	資料	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
導 入 つ か む	1. 仲良しアンケートの結果を見て、感じたことを発表する。	○アンケートの結果を見て、全員と友達になれていない児童がいることに気付くように促す。 ○アンケートの記述内容にも触れることで、友達がどのような思いでいるかを感じられるようにする。	・アンケート結果 (児童の意識を高めるための資料)	
展 開 さ ぐ る 見 つ け る	2. 写真を見て、なぜ写真の様子が仲良くなれているのかを考える。 3. クラスの友達がみんな仲良くなるためには、どうすればよいのか話し合う。	○アンケートの回答に出た、仲良くなれている理由を表す場面の写真を掲示し、何をして仲良くなっているのかを考えられるよう助言する。 ○みんなと仲良くなるためには、関わるのが大事であると気付けるよう助言する。	・仲良く関わっている児童の写真 (ねらいを焦点化するための資料)	☆友達への関わりをよりよいものにするための方法について考え、前向きに話し合っている。 (思考・判断・表現) 〈観察〉
終 末 決 め る	4. みんなと仲良くなるために、自分ができていることを考え、めあてカードに記入する。	○自分がすぐ実践できるよう、具体的な内容を書くように伝える。	めあてカード (実践への意欲付けのための資料)	☆みんなと仲良くなるための具体的なめあてを立てている。 【思考・判断・表現】 〈観察・学習カード〉

④板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">みんなとなかよく</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">アンケート結果</p> <p style="text-align: center;">はい いいえ</p> <p style="text-align: center;">人 人</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなししてるから ・いっしょにあそんでるから ・なかよくなれてない人がいるから 	写真	写真	写真	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">みんななかよくなるためにはどうすればいいだろう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・もっといろんな人にこえをかけてあげる。 ・こまっている人がいたらたすけてあげる。 ・あそびにいくときに、いっしょにいこうっていう。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ともだちにいっしょにあそぼうってこえをかけている。 ・ともだちにやさしくしている。 ・こまっている人をたすけている。 			

(3) 事後の展開

活動の場	児童の活動	○指導上の留意点	目指す児童の姿☆
授業後から	・意思決定しためあてを意識して実践する。	○一人ひとりのめあてを掲示して、実践への意欲付けとなるようにする。	☆意思決定したことを実践している。 【思考・判断・表現】 〈観察〉
クラスタイム	・六角形のカードを書く。	○めあてを達成している友達を見つける機会を設定する。 (クラスタイム)	☆よりよい人間関係を形成しようとしている。 【主体的態度】 〈学習カード〉
全員がめあてを達成した時	・実践したことについて振り返る。	○全員のめあてが達成された学習カード(サッカーボール)がゴールに入り、達成感を味わえるようにする。	☆実践を振り返り、今後の学校生活や日常生活に生かそうとしている。 【主体的態度】 〈サッカーゴール掲示物〉

